

論 說

迎 年 の 辭

水野 鍊太郎



○
昨年の我國經濟界は非常なる不況に陥り産業は萎微し物價は激落し各種の事業は停頓の状態にあり、その結果として多數の失業者を出し所謂深刻なる不景氣を招來したのである。その原因に就ては種々の議論があり或は現内閣の無準備の金輸出解禁の結果なりといひ或は不合理なる財政緊縮消費節約の爲めなりといひ或は世界的不景氣の影響なりといふ者があるが余は今茲に一々その原因の詮議だてをなすことを欲しない。その原因は何れにありとするも今後に於ける財界經濟界の建直しをなし現時の不況を轉回することが國家並國民の爲に必要であることを痛感するのである。

○ 經濟問題に就ては幾多の論議すべきことがあるけれども今茲には之に論及することを避ける。唯財政の緊縮に伴ひ各種事業の中止又は繰延をなしたるが爲め、多數の失業者を出したといふことは事實であるから、此の點に就て相當考慮する必要あることを信するのである。我が道路改良會に於ては此に意を致し、昨年七月五日に理事會を開き、現下の失業狀態及び其の救濟方策の内容に就て調査をなし、その結果政府に對して失業救濟としての道路改良事業促進の件に關して建議をなすこととしたのである、その建議は次の如き趣旨である。

近時經濟界の不況に伴ふて失業者續出し職を得んと欲するも能はざる者實に數十萬の多きに達し、是が適當の對策を講ずるは重大なる社會問題として刻下緊要の事務たり、政府は夙に是が解決に努めつゝありと雖も未だ十分に其の効果を擧ぐる能はざるは頗る遺憾なりとす。

惟ふに是等失業の由て生ずべき原因を究めて是が解決を圖るの必要なるは論を俟たざる所なりと雖も、失業者の目を逐ひ増加する現狀にありては應急の對策を講じて授職の途を開くことは洵に焦眉の急務たり、蓋し失業者授職の方途たる固より多々あるべしと雖も、國又は公共團體に於て各種起業を計畫し以て授職の方途を講ずるを捷徑とし、且つ其の起業は各地に散在し一般労働者を使役し得るものにして而も其の事業が生産的なることを要す、道路改良事業の如きは此の見地に於て右要件を具備するものと謂ふべし、歐米各國亦失業對策として此の種事業の實行に依り成

果を収めたるが如き決して故なきにあらざるなり。

翻て我國道路の現状を見るに近代交通の要求に應ずる構造を有するもの極めて少く爲に自動車
の機能を擧ぐる能はずして國民經濟上に被むる損失擧げて數ふべからざるの實情に在り従來幾
度か是が改良事業の計畫されたるものありしと雖も財政緊縮の爲に未だ其の實現を見る能はざ
るは頗る遺憾とする所なるを以て今日失業救済對策として是が事業を起工せしむることは之に
依つて失業者に職を與へ我が産業の進展に寄與する一舉兩得の方策たるを失はず仍て政府は従
來の緊縮方針を緩和し道路事業の爲には起債を許可すると同時に失業者の爲にする國庫補助の
財源を道路改良費に充當し補助政策を速に實行し大に道路の改良を奨勵して社會問題の解決に
努められんことを切望す。

此の建議は内閣總理大臣内務大臣大藏大臣に提出し尙ほ地方長官にも同一の書面を提出したの
である。且又本會は特に山田橋本兩理事をして關係大臣に面接し親しくその意見を進言せしめた
のである。

○

此の建議の趣旨を政府に於ても容認せられたる爲めか爾來地方起債を緩和し各地方に於て救済
の目的の爲にする地方債を起し之を以て道路工事其の他の事業を起しつゝあるといふことである。
又近く政府は救済事業を目的とする道路工事の爲に起債の方針を立て二千萬圓近くの公債を來年

度の豫算に計上したるやに聞くのである。此の事たる一面に於ては道路改良の實を擧げ、一面に於ては失業救済の爲になるのであるから、政府が従來の政策を轉回して此の擧に出でたといふことは先きに本會が政府に建議したる趣旨が實現せらるゝに至りたるのであつて本會として頗る満足する所である。

世界的に不景氣であるといふことは事實であり、各國に於ても失業救済に努力しつゝあるのであるが其の救済事業の主なるものとしては道路工事に力を致しつゝあるといふことも亦各國の執りつゝある政策である。現に米國の如きは二億圓乃至三億圓の鉅額を道路工事の爲に投じ、一面に於ては道路改良の爲に一面に於ては失業救済の爲に鋭意努力して居る實狀である。又英國其の他の國に於ても同様の政策を執つて居るのである。道路改良と失業救済とは相伴ふべき政策であり、之に依つて失業者を救済すると同時に國富の開發をなし得るのである。本會が此の意見を高調し政府に進言したるも此の趣旨に外ならぬのであつて、今日此の進言が幾分にも達せられたることを見て吾人理事者として深く欣喜に堪へないのである。

本會は多年道路の改良を唱へ、道路の改良に依つて交通の便を開き物資の開發を圖り以て國富を増加し國民生活の安定を期せしめんとして居つたのである。前内閣に於て産業道路の計畫を樹て

昭和四年度の豫算に於て其の費用として二百萬圓を計上し、議會の通過を見たるに際し本會は此の計畫は我國産業發展の基礎となるべきことを思ひ滿腔の喜を以て之を迎へ特に本會雜誌に於て「産業道路號」を發行しその成立を祝福したことは讀者の尙ほ記憶に存する所であらう。

然るに現内閣に於ては實行豫算の名の下に之を削除しその執行を見るを得ざるに至つたことは本會の非常に遺憾として居つた所であり何れの日か之を復活し地方産業發展の爲に道路改良の實績の擧がらんことを希望して居つたのである。今回は名は異なるも失業救済の目的を以て道路事業の爲めに公債發行を認めたことは等しく産業發展に資するのであるから、本會多年の主張の容れられたることに顧みて此の政策を謳歌するに躊躇せざるものである。

由來我國は道路政策に於ては最も遅れて居つて都市といはず、農村といはず、道路の不完全なるが爲め近代交通の要求に應ずる能はざるもの少からず爲に國民經濟上に及ぼす損失の多かりしことは言ふまでもないのである、それ故に原内閣の當時公債を財源として道路改良の計畫を樹て、年々國庫より一千萬圓近くの補助を地方に與へ地方道路を開發せんとしたこともあつたが、爾來國家財政の上よりその金額が年々に減少せられて、或は四百五十萬圓となり或は三百五十萬圓となつたといふ状況である。これは本會としては極めて遺憾のこととしたのであるから道路改良費の減額を見んとするに方りては本會は常に意見を提出して道路改良事業の進展を阻止することの不可なるこ

とを政府に建言したることは一再に止まらないのである。

殊に昨年來經濟界の不況に伴ひ失業者簇出の狀況に顧み失業救済と道路改良事業の關係を檢討して、失業救済對策として道路改良事業を起すことは社會政策としても産業政策としても必要なることであり所謂一舉兩得の方策たることを強調して政府に其の意を致したのである。今回幸にその趣旨が認めらるゝことゝなり中央に於てもまた地方に於ても起債方針を緩和し道路改良の爲にその財源を公債に求めてその事業を行はんとするに至りたることは双手を擧げて賛意を表せざるを得ないのである。

以上は主として道路に關して述べたのであるが、尙ほその他の他の事業に於ても國民富力の増進に寄與することあるべき事業に關しては同一の方針に基き、一面に於ては經濟界の不況を轉換し、一面に於ては國家産業の振興に資するの方策を執られんことを切望して己まないものである。

今や産業界の不振經濟界の不況の極度に達したる昭和五年も過ぎ去り茲に昭和六年を迎へんとするのであるが、本年に於て經濟界が如何なる趨勢を呈するやは今直に豫期することは出来ないものであるが、願くは本年新春を迎ふるに當り、此の不況不振を轉換し意氣潑瀾たる國民の精神を作興し、

以て繁榮あり希望ある年たらんことを祈願して止まないものである。我が協會は從來の方針に基き益々道路改良に意を致し國家の富源を開發し國民生活の安定を期せんことに努力するつもりである。

茲に昭和六年の新年を迎ふるに方り一言所懐を述べて會員諸君の健康を祝し國家の繁盛を希望するのである。

道路改良の必要

野村兼太郎

震災後東京市の道路が非常に改良されたと云ふ。又中にはその幅員が不相應に大であると云ふ者すらある。成程處に依ると兩側の建物が甚だ貧弱で道路に相應せず何となく物足らぬ感じを與へる場所もなくはない。しかし果して東京市の道路は立派過ぎるであらうか。元來道路の目的は二つの地點を結合聯絡することである。恐らくその原始形態は必要なる二點間の最短距離であつたらう。今でもよく角地面の明地等に三角形の一邊は他の二邊の和より小なりとする幾何の定理